

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ほのか		
○保護者評価実施期間	2025年9月1日		～ 2025年9月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2025年9月1日		～ 2025年9月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達1人一人のアセスメントを適切に実施して、課題や保護者の思いを踏まえて必要な支援や環境の調整について話し合いを行っている。それに基づいて、個別支援計画の変更・実施を職員全員に共有して支援を行っている。	アセスメントやモニタリングの実施は適切に実施しています。また、常勤の毎朝の話し合いの内容によって保護者の方との個別面談を行っています。保護者の方には個別計画書の内容を確認して頂き変更や追加がないかを確認して頂いています。職員は、個別計画書や支援の方法の変更点を確認して支援を行っております。	常勤は毎朝のミーティングにて意見を伝える機会がありますが、非常勤の職員の意見を確認できる機会として定期的な会議などを行っていきたく思います。また、支援の方法や子ども達が過ごしている環境の変更点などを文章だけでなく動画や写真・イラストなどを含めて職員に周知していけたらと思います。
2	子ども達が自分の意見や意思を表現しやすい・選択しやすい環境を整えて支援を行っている。	個別のスケジュール表を使用したり、絵カードでの自分の意思や考えを表現する機会を取り組んでいます。また、自分で選択する機会を持つとして『おやつを選ぶ』取り組みなども始めています。自分の意見を肯定してもらえらる機会を重ねていく体験を続けていけたらと思います。	子ども達の様子を確認しながら、絵カードの追加や変更を行って行けたらと思います。また、年齢による成長や子ども達の様子によって理解度などの確認を行い支援の方法や環境の整備を続けていけたらと思います。
3	・曜日で固定されていた活動(お買い物)を、長期休みに固定しないで実施する機会を持ってみた。	利用する曜日に関係なく、新たな事を体験できる機会を持つ事により子ども達の新たな様子を確認する機会を持った。また、子ども達に選択してもらえらる機会を毎日取り入れる機会となりました。	新たな活動やお出かけ先など子ども達の希望や様子に合わせて提案や実施を行っていきたく。また、職員内でも話し合いで活動の支援の方法や出かける時の過ごし方(手のつなぎ方・誘導の方法など)などの情報を共有を行いより良い支援に繋げて行ければと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童のが過ごしている空間が適切であるのか。職員数は適切であるのか。	子ども達の利用人数によって空間が狭いと感ずる時がある。外で遊ぶなどの工夫は行っているが、不安定な児童がいる時の安全確保が難しい場合がある。また、職員の経験・子ども達との対応を行う大人との関係性によっても難しい場合が起きる事がある。	不安定になった時に落ち着ける場所の確保や方法を改めて各児童について確認して・情報を共有する。また、自分が子どもとの対応で難しいと感じた場合応援を求めらる・対応を行う大人を変更するなどの支援を実施する機会を持ってみる。不安定になりやすい状況・環境を確認しておく。
2	子ども達それぞれの課題や支援の方法について変更点があれば、職員に周知を行って実施しているが全員に周知や理解するまでに時間がかかる。	常勤は、毎朝のミーティングを実施して支援の案などを提案する機会があるが、職員全員(非常勤の職員)の支援に対しての意見を確認できる機会が少ない。また、職員の足りないと感じる時・職員と児童との相性や関係性によっては、支援の方法・支援の結果についてばらつきが出る事がある。	支援の方法やそれぞれの児童の様子について話し合う・意見を提案できる機会を定期的実施する機会を持つ。また、支援方法について、説明や実際に実践・練習を職員内で行う機会を増やして聞けたらと思います。職員全員で行えない場合は、『日報集約』に記載・動画で周知するなどの方法を実施していきたく思います。
3	各種マニュアルについての周知や、実際に事故・災害が起きた時の訓練や練習をする機会が少ない。	各週マニュアルについては、保護者の方や非常勤の方への周知や変更点の説明が実施出来ていないように感じた。また、実際に児童が参加する避難訓練度は実施が難しい事が続いている。	公園やお散歩へのお出かけを通して、施設外へ出かける機会を通しながら、非難する経験を練習する事を続けていけたらと思います。また、各種マニュアルについても定期的に見直しを行い、修正や追加する箇所が無いかを確認する機会を続けていけたらと思います。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービスほのか

公表日 2025年10月31日

利用児童数 2025年10月31日 22名

回収数 17/22

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	2	0	0	・プログラムが固定化されている事がメリットである可能性も感じています。	学校がある時のプログラムは引き続きながら、時間のある長期休みに新たなプログラムやお出かけ場所にチャレンジする機会を持ってみる。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	3	6		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	1	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	1	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	3	0	1	・子育てに関する助言はないが、特に不満はない。	送迎時の保護者様の様子や連絡帳の記載事項について、常勤の朝のミーティングで話し合う機会を持つ。また、個人面談が必要と感じられた場合は積極的に実施を行う。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2	3	3	・保護者会はありません。	保護者会の実施は続けていながら、きょうだい・保護者向けの研修や交流会などのお知らせがあった場合、保護者様にお知らせする機会を続けていく。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	5	0	2	・頻度は低いと感じられる。	ホームページの更新を増やしていく。また、日常の子ども達の様子を写真などを通してLINEで保護者様にお知らせする機会を増やしていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1	0	6	・防災用の帽子は置かれているが、実際に起こった場合避難できるのかと感じている。	実際に、子ども達も参加してもらい非難する機会をもつ。また、職員全員でマニュアルの確認・非難を想定しての話し合う・実施する機会を持つ。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	0	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	2	0	0	・連絡はあるが、どんな状況だったのかなどの説明は足りないと感じている。	送迎時に保護者様にお伝えする事はもちろん、LINEなども使用してケガや状況の確認・報告する事を心に留めて支援にあたる。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスほのか				公表日		2025年10月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	3	騒がしいや室内の人数が多いと感じられた時は天候や気温などを考えながら、室内以外の場所で過ごせるように子ども達を誘導している。	1つの場所に児童が集まる事があるので、それぞれのスペースを確保できるように誘導を行う。不安定になった時に安全を確保する方法を職員全員で把握しておく。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	5	職員の配置をお互いに確認して、手薄な所がある場合他の人に伝えて移動してもらう事が心がけている。	子ども達の様子や曜日によって利用児童の多い曜日は、手薄になる時がある。子どもの特性や支援の方法・子ども達が過ごす環境の見直しを行う。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	子ども達それぞれ個別のスケジュール表を活用して見通しを持って過ごしている。	スケジュール表の活用が難しい児童の練習を続けていく。カームダウン（クールダウン）出来る場所があると良いと感じる。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	日々の清掃・消毒は実践している。また、危険な場所の補修や修繕なども行って安全を確保している。	普段の清掃以外の場所の掃除が難しい時がある。定期的に、掃除する機会を考えて実践していく事を続けていく。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	マットレスやタオルケットなどを使用して落ち着ける環境になるように心がけている。	・崩れた時に落ち着ける為の個別になれる部屋はないので、落ち着ける方法が無いか考えて実施していく。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	朝のミーティングには参加出来ていないが、少なくとも支援に入る前に『日報集約』に記載されているので確認はしている。	長期休みの事についても非常勤を含めて職員全員で振り返り話し合える機会があれば良いと考えられる。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	『日報集約』に記載されるので、事後通達で確認している。	常勤は、朝のミーティングに参加し意見を述べる機会があるが非常勤は意見を述べられる機会が少ない。個々に意見を伝えてくれる機会はある職員全員の意見を確認できる機会を作っていきたい。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	職員みんなで集まってではなく、個々に意見を述べる機会はある。	非常勤の方が個々に意見を伝えてくれる機会はある職員全員の意見を確認できる機会を作っていきたい。また、変更・実施した支援内容についての振り返りが行えていない事もある。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	外部の評価は今の所ない。	第三者の意見・評価を受ける機会を考えていきたい。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	年4～6回の職員全員に向けての研修は実施している。また、堺市などで実施されている研修や交流会などに参加する機会を実施している。	研修内容を踏まえて実践できるように心がけてきたい。また、外部の研修にも積極的に参加する機会を続けていきたい。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	法人のホームページに公表は行っている。また、ブログを通して子ども達のプログラム中の様子も伝えている。	ブログの更新がなかなか出来ない事もある。更新できるように実施していく。また、LINEなども活用して保護者様に個々に様子を伝えていく機会を増やしていく。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	作成する立場になっていない。最低6か月に1回はモニタリングを実施してアセスメントを行っている。また、保護者様からの希望や本人の様子に変化があった場合は計画の修正や追加を実施している。その後保護者様に確認してもらい計画書の作成を行っている。	本人の希望や保護者様の考えやニーズの把握のために、家庭や学校、他のデイでの様子など日々情報を確認したり・質問などを通して確認して情報交換する機会を増やしていく。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	作成する立場になっていない。朝のミーティングの時間などを使い職員で話し合う機会は持っている。また、学校の引き渡し時などに家庭や学校での情報を聞いた内容について記載する用紙を使用している。	自宅送迎時に今日の過ごしていた様子を適切に伝える。保護者様と話した内容やその時の表情や言動などに注意して他の職員への伝達や記録への記載を怠らないようにする。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	作成した計画書に沿って支援を実施して子どもの様子の変化を検討する機会は朝のミーティングなどに実施している。	家庭・学校・他のデイでの様子に変化や注意事項があった場合、『日報集約』に記載するなど全職員に周知し注意深く様子を見守る機会を続けていく。			

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	利用時には、各児童の連絡帳にその日の様子を記載している。また、次の日には『日報集約』に全員分の様子を記入している。また、送迎時の保護者様と話した内容も記載している。	送迎時にどの職員でも保護者からの質問などに答えるように、日々子ども達の様子を観察する事を続けていき支援にどうつなげていけばいいかを考えていく。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	すべての項目について個別計画書に記載している。また、子ども達の様子に変更があった場合は、修正や追加を行っている。最後には、保護者様に確認している。	・具体的に支援を行うための目標について職員全員が確認しやすい工夫があるのでと感じている。また、支援の方法を決定して実施するが職員全員が把握できる・職員全員が実施出来るまでに時間を要する事があると感じている。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	常勤は、朝のミーティングに参加して提案や意見を述べる機会に参加している。	非常勤の方のプログラムの立案時の参加は少ない。長期休みなどの、予定を決める際には全員で参加するミーティングなどで設定する事を増やしていければと考える。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	3	今年度の夏休みは、曜日の固定を無くして近所のスーパーへのお買い物や多くの曜日で実施出来た。子ども達の新たな反応や行動の様子を見れる機会となった。	長期休み以外の、学校がある日のプログラムは、固定化している。現在始めたばかりだが、曜日に関係なくその日食べるお菓子を子ども達本人に選択してもらえる機会を実施している。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	個別・集団活動ともに個別計画書に記載している。子ども達本人の意思の尊重を行い、参加の有無や参加するタイミングについて選択してもらう機会を実施している。	職員の体制や所要時間が合えば、積極的にお菓子の購入・お散歩・公園で遊ぶなど地域で過ごす時間を持つ機会を増やしていく途中である。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	常勤者は、毎朝のミーティングに参加している。非常勤は、『日報集約』に纏められた情報を確認し情報共有を行ってから支援に入っている。	文章で纏められた物だけではなく、動画やお互いにデモンストレーションを行ったりなど、全職員が理解しやすい方法で安全や支援を行う方法を周知していけたらと思う。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	その日ではなく、次の日に朝のミーティングにて常勤は行っている。その後、非常勤の方には『日報集約』にまとめて周知している。また、緊急性が高いや動画での説明が必要な場合はLINEなども使用して周知している。	支援終了後は難しいため、その日にあった出来事・子ども達の様子を記入する用紙を準備して活用している。全職員で、見た・知った内容を出来るだけ細かく様子を記入する紙・日報集約に記入できる機会を増やしていく。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	非常勤の方が記入した日誌・子ども達の様子を個別に記載できる用紙の情報に基づいて、翌日まとめて物が提示している。『日報集約』となっている。	記録をまとめて、支援の検証・振り返りを行って支援の方法・環境の整備を行うが持続して実施する事が難しい事がある。持続できるように方法や環境を整えていきたいと考えている。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	最低6か月に1回はモニタリングを実施してアセスメントを行っている。また、保護者様からの希望や本人の様子に変化があった場合は計画の修正や追加を実施している。その後保護者様に確認してもらい計画書の作成を行っている。	本人の希望や保護者様の考えやニーズの把握のために、家庭や学校、他のデイの様子など日々情報を確認したり・質問などを通して確認して情報交換する機会を増やしていく。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	2	個別計画書には記載を行っている。また、それを基に支援を実施している。『トイレトレーニング』についての支援方法や記録の取り方について良くなったと感じている。	現在は、それぞれの個別計画書に記載している各児童の支援目標を明確にした（表・カードなどにまとめて）物があれば全職員が確認や支援につく目的を考えやすいのではないかと感じている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	絵カードを提示したり・実物から選択してもらう機会を実施している。また、ジェスチャーなどの行動によって意思を表減する機会も行っている。	絵カードの更新や追加など、各児童の発達や理解に合わせた絵カードや方法を準備する時間が足りない時がある。前職員の意見を確認しながら実施を進めていきたいと思います。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	担当者会議などには、児発管（女性）が必ず出席している。	職員の体勢もあり難しい事も多いが、実際によく支援にあたる職員と一緒に出席できる事が望ましいと感じる。実際に、性別によって支援に直接入れない場面（トイレ・更衣の際など）もあるのでより詳しい状況が説明しやすいのではないかと感じる。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	他のデイ、学校、家庭との連携は担当者会議などの開催の話があれば参加する体制を取っている。	こちらからの、担当者会議の開催などのアプローチが少ないので相談支援員に伝えるなど実施して欲しい事をアピールする機会を増やしていく。

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	保護者様からの記載や連絡で確認を行っている。また、学校からのメールにて行事の予定や下校時間を把握している。緊急時の連絡調整には、電話・LINEなども使用して行っている。	現在使用している、電話・LINEに加えて保護者様との連絡ツールとしてメールを検討している。現在、各保護者様にメールアドレスを確認している途中である。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	受け入れ時に行うが、それ以降は相談支援員さんや保護者様と行う事が多い。	情報の共有が必要な場合は、効率よく実施していきたい。また、日々の様子に変化があった場合は細かな様子を記載して記録しておく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	卒業前に、担当者会議などの実施があった場合は参加している。必要な情報や日々の様子などを伝える機会を持っている。	全ての、卒業の児童に対して行われののではないので伝えないまま卒業になる場合もある。保護者様には、求められるとお伝えできる事を伝えていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	相談支援員を通して相談を行い、助言を頂く事がある。また、見学会なども参加する機会を持っている。	利用児童についての相談での関りが多いので、研修などに参加してそれ以外の事も連携していきたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	児童クラブや児童館との交流は今の所ない。地域の子ども達とは近所の公園で出会うが関りはない。	地域の児童とは、公園などで出会うので交流する機会は持ちたいが、方法が見つからない。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	現在、参加はしていない事が続いている。	参加する方法が分からないので参加出来ない事が続いている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	保護者様とは、連絡帳やLINEでのやり取りを通して子ども達の様子をやり取りしている。また、モニタリングについても定期的に行っている。	日々の状況は、お互いに伝えあっているが将来の希望やそれに関わる保護者様の望みを深く確認する機会は少ない。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	外部で行われる、研修やイベントについてはお知らせが届いた場合は、手紙やLINEでお知らせしている。	事業所の主催のイベントは保護者会が多い。保護者様・事業所スタッフの交流がメインなのでそれ以外の機会も考えて実施していきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	契約時に運営規程・利用者負担等・プログラムは、説明を行っている。変更事項が生じた場合は、新たに追加事項の説明を行っている。	更新した場合は、説明漏れがないように実施していきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	モニタリングの際に保護者様のご意見や希望についてや困りごとの確認を行っている。また、子ども達の様子を踏まえて職員で話し合う機会を持っている。個別の面談を実施する場合もある。	子ども達の意見や希望を確認する機会を大切にしながら、自己選択できる方法を見つけて子ども達一人一人にあった方法を見つけていきたいと考えている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1	個別計画書を作成後は、必ず確認を行ってもらい同意を得ている。	子ども達の様子の変化に素早く気づき、職員内で話し合いを実施して保護者様の意見を確認しながら、より良い支援に繋げていく事を続けていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	モニタリングの際や連絡帳・送迎時などに相談される事がある。職員内で話し合い、必要な場合は個人面談なども開催して取り組んでいる。	全ての保護者様に、「相談してみよう」「相談して良かった」と思ってもらえるように保護者様の様子や表情など対面でお話する時は気をつける事を心がける。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	保護者会は実施しているが、兄弟の交流会の実施は今の所ない。保護者様が、参加されている『堺市手をつなぐ育成会』の研修などには、お誘い頂いた時は参加させて頂いている。	保護者会の実施は続けていきながら、保護者様が参加されている研修や交流会への参加を積極的に行っていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	事案があった場合には、迅速に対応を行っている。	管理者・児発管が対応を行う事を続けていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	ホームページでのブログや、保護者様にLINEにて活動中の様子を報告している。	ホームページの更新が出来ない時もあるので、間隔を短めに更新を続けていく。また、個人の写真を保護者様にLINEにて送る事も続けていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	子ども達個人のファイル・書類については鍵の施錠の出来る棚に保管している。また、個人を特定できないように書類はシュレッダーを行い廃棄している。	ホームページのブログなどを更新する際は、顔を写したくない・名前を記載しないでなどの保護者様のご希望を守って実施する事を続けていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1	子ども達に対しては、分かりやすい言葉やイラスト・写真を使用して伝える機会を行っている。保護者様に対しても、ルビの入った契約書や重要事項説明書を準備している。	子ども達に対しては、丁寧な言葉遣いや理解しやすい言葉を使用し理解してもらいやすい方法を使用する事を続けていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	地域の方を招待しての交流はとくには無いが、今まで苦情などの問題もない。	地域の方を招待は難しいので、お買い物やお散歩・公園など地域の場に出ていく時の態度や挨拶を行う姿勢を続けていく。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3	各種の真にマニュアルは保管されている。	保護者様への周知は行っていないので、保護者会などを通して確認してもらおう機会を持ちたい。また、改善や追加などの見直しも定期的に実施していきたい。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	5	BCPの策定は行っている。	策定は行っているが、修正や追加を行う機会を定期的には実施できていない。また、実際の子ども達も参加の災害訓練は行っていないの実施していきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	契約時・年度初めのモニタリングシートにて情報を保護者様に記入してもらっている。情報が変わるたびに情報を共有している。	送迎時に、てんかん発作が見られた事例があった。車外に移動してもらうのに、時間がかかる事があったので座る場所・発作の起きた時の援助の方法など職員で情報を改めて確認する機会を持つ事。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	契約時・年度初めのモニタリングシートにて情報を保護者様に記入してもらっている。情報が変わるたびに情報を共有している。	おやつを子ども本人に選択してもらった活動も始まったので、職員全員でアレルギーの有無や危険なお菓子について確認する機会を改めて持ちたい。また、確認しやすい方法を考えていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	計画は、策定できている。社内研修やミーティングを実施している。	研修や実際の訓練は定期的に行っていない。また、大型の災害を想定して実際に職員全員でシミュレーションなどの機会を実施する事を考えていきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	緊急連絡先を保護者様から頂いている。普段は、①LINE②電話で実施している。その他を考えて、メールアドレスも現在確認中である。	安全計画の更新を定期的に行いながら、保護者様に対してお知らせする事を続けていきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	常勤者は、毎朝前日の子ども達の様子を確認しヒヤリハットなどの話し合いを実施している。また、再発防止の方法や支援内容を考えて『日報集約』に記載して周知している。	再発防止を考えて実施しているが、修正や改善が上手くいかない時がある。実施した支援内容を振り返り修正などを行い実施を続けていけるようにする。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	1年に1回社内にて研修を実施している。また、外部の研修にも参加して周知している。	より多くの職員で外部の研修などに参加できる機会を持つ。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	契約時に説明を行っている。『どのような行為があたるのか』などを説明して、止む終えずに行った場合は報告書を作成して記録を行っている。また、保護者様にも確認を行っている。拘束を行う可能性のある児童については個別計画書にも記載している。	子ども達に対して身体拘束を行わなくてもいい支援方法として、視覚的に提示するや拘束が置きそうな場面を想定して環境の整備や関わる大人の支援方法を職員全員で共有して支援する事を続けていきたい。